

交通事故発生状況

目次

令和元年における交通死亡事故発生状況等について（道路）	1
1 交通事故死者数の推移	2
2 歩行中死者の状況【法令違反状況の推移】	3
歩行中死者の状況【死傷者との比較】	4
3 自転車乗用中死者の状況【法令違反状況の推移】	5
自転車乗用中死者の状況【死傷者との比較】	6
4 高齢運転者による交通死亡事故件数の推移	7
5 幼児・小学生の交通事故死者数等の推移	8
6 飲酒運転による交通事故に係る分析	9
7 シートベルト着用状況（後部座席）に係る分析	10
8 歩行中死者数の推移	11
9 危険認知速度と交通死亡事故の相関に係る分析	12
令和元年における交通事故死者数減少要因分析	13
令和元年中の交通事故等発生状況（鉄軌道・踏切道・海上・航空）	15
1 鉄軌道の運転事故の発生状況	15
（1）鉄軌道運転事故の件数と死傷者数の推移	15
（2）鉄軌道における事故種類別の運転事故の発生状況（令和元年分）	15
2 鉄軌道踏切事故の発生状況	16
（1）鉄軌道踏切事故の件数と死傷者数の推移	16
（2）衝撃物別踏切事故発生件数（令和元年分）	16
（3）踏切道種別の踏切事故発生件数	16
3 海難等の状況	17
（1）船舶事故隻数及びそれに伴う死者・行方不明者数の推移	17
（2）船舶からの海中転落者数及び死亡・行方不明者数の推移	17
（3）海難船舶の状況	18
（4）死者・行方不明者の発生状況	19
4 航空事故発生件数及び死傷者数の推移	20

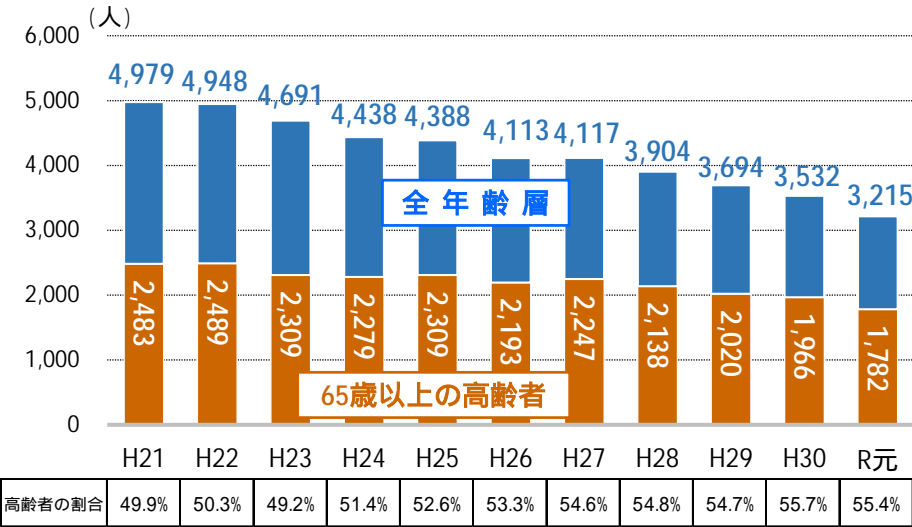
海外の交通事故発生状況（道路）	令和元年版交通安全白書より	・・・	21
1	人口 10 万人当たりの交通事故死者数（2017 年）	・・・	22
2	人口 10 万人当たりの交通事故死者数上位国の推移（2008～2017 年）	・・・	22
3	我が国と主な欧米諸国の状態別交通事故死者数の構成率（2017 年）	・・・	23
4	主な欧米諸国の年齢層別交通事故死者数の構成率と人口構成率 （2017 年）	・・・	23
5	我が国と主な欧米諸国の状態別・年齢層別交通事故死者数の構成率 （2017 年）	・・・	24
6	我が国と主な欧米諸国の自動車 1 万台当たりの交通事故死者数及び 自動車走行 1 億キロメートル当たり交通事故死者数の状況（2017 年）	・・・	24

令和元年における交通死亡事故の発生状況等について

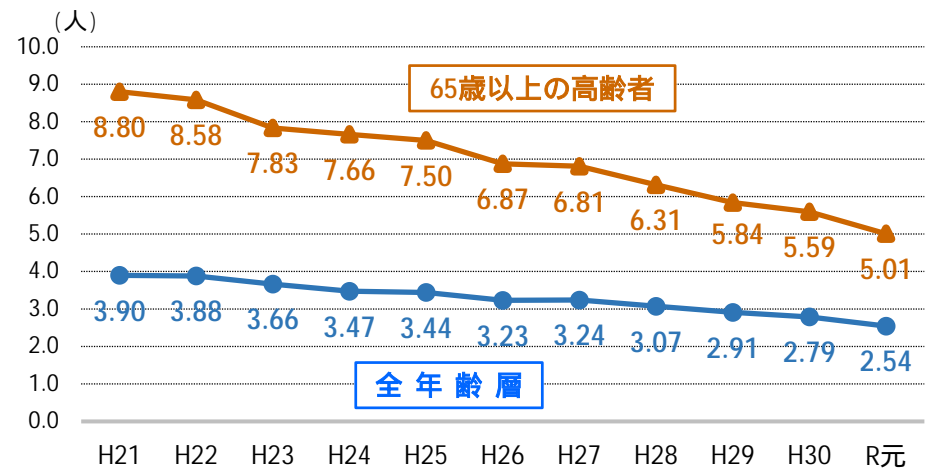
令和2年2月13日
警察庁交通局

1 交通事故死者数の推移

交通事故死者数の推移

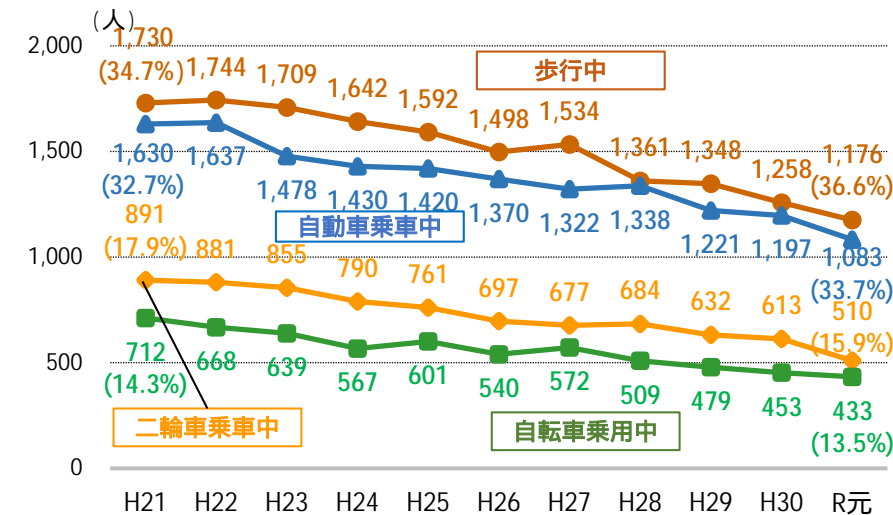


交通事故死者数の推移 (人口10万人当たり)



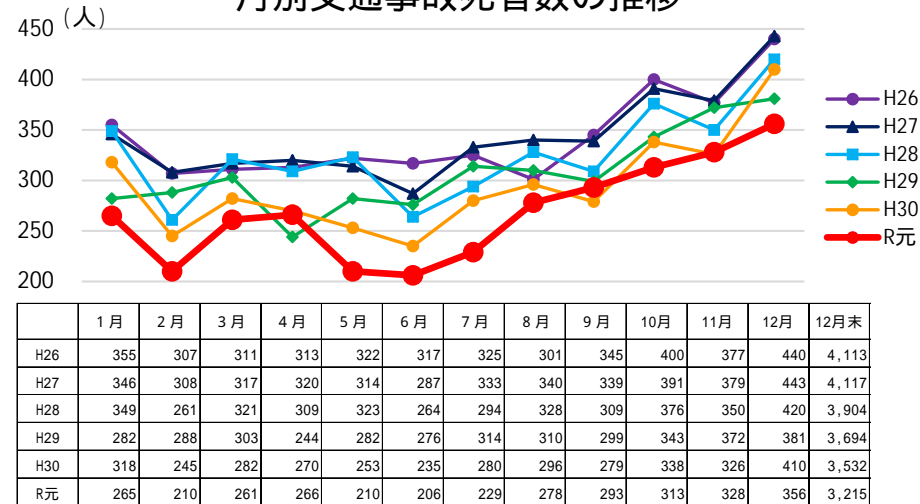
(注) ・算出に用いた人口は、各年の前年の人口であり、総務省統計資料「人口推計」(各年10月1日現在の人口(補間補正を行っていないもの。ただし、国勢調査実施年は国勢調査人口による。))による。

状態別死者数の推移



(注) ・()内は全死者数に占める構成率

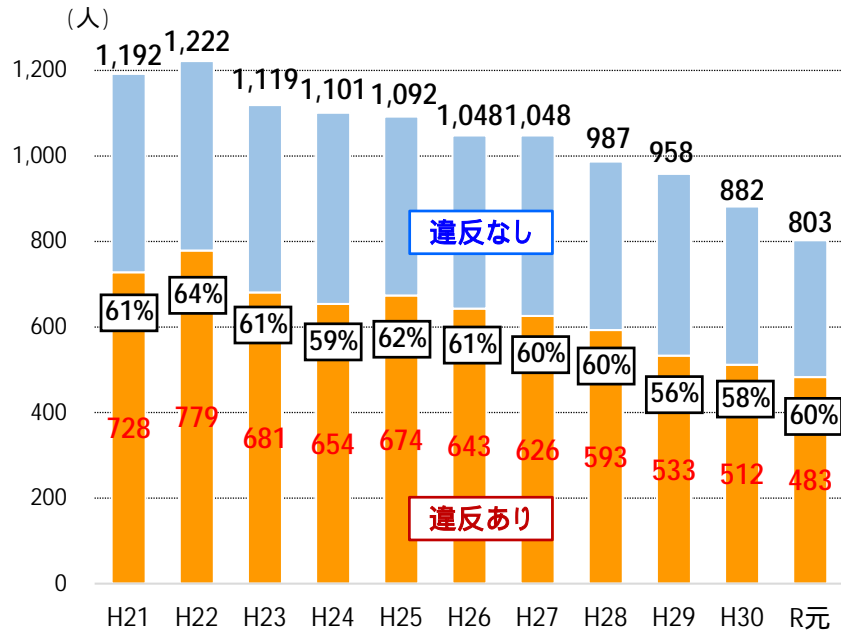
月別交通事故死者数の推移



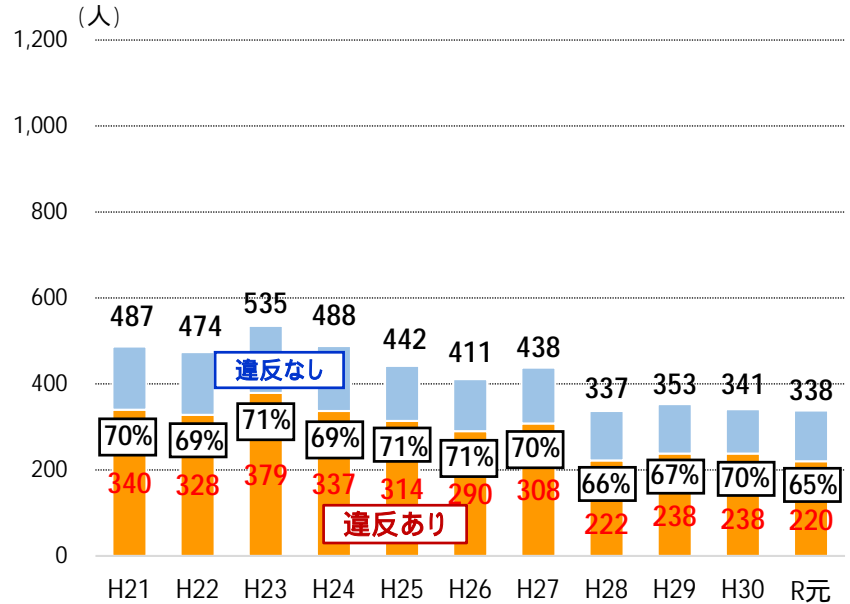
2 歩行中死者の状況 【 法令違反状況の推移】

歩行中死者（第1・第2当事者）の法令違反状況の推移

高齢者（65歳以上）



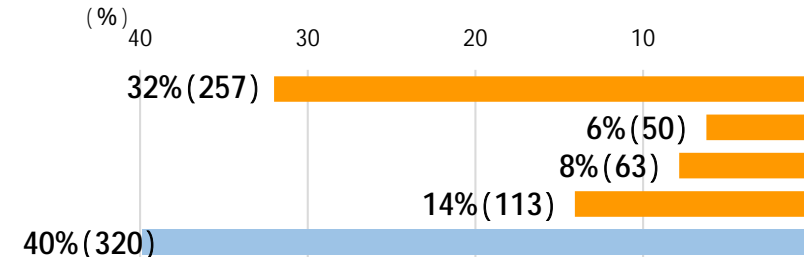
高齢者以外



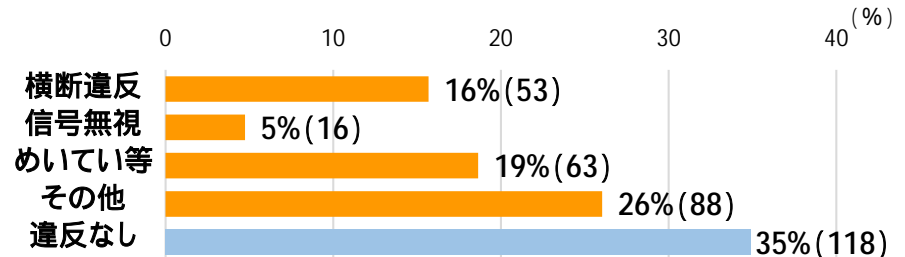
(注) ・「違反あり」には、法令に規定のない「飛出し(安全を確認しないで道路に飛び出したもの)」、「調査不能(違反種別が不明の場合)」等を含む。

歩行中死者（第1・第2当事者）の法令違反別比較（令和元年）

高齢者(65歳以上) (803人)



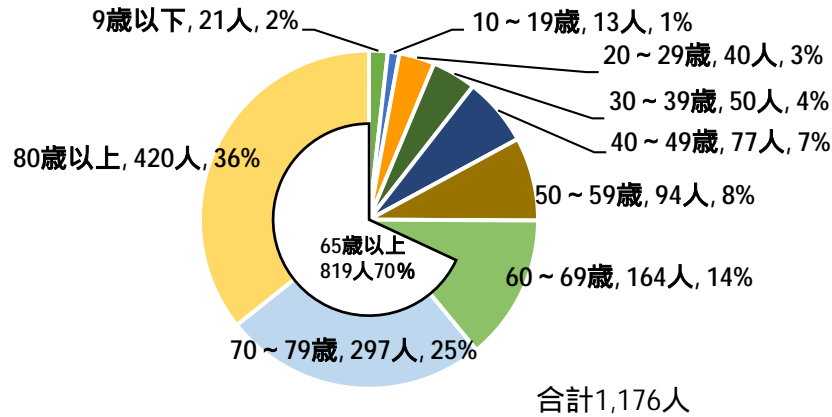
高齢者以外(338人)



(注) ・「横断違反」とは、横断歩道外横断、走行車両の直前直後横断等をいう。

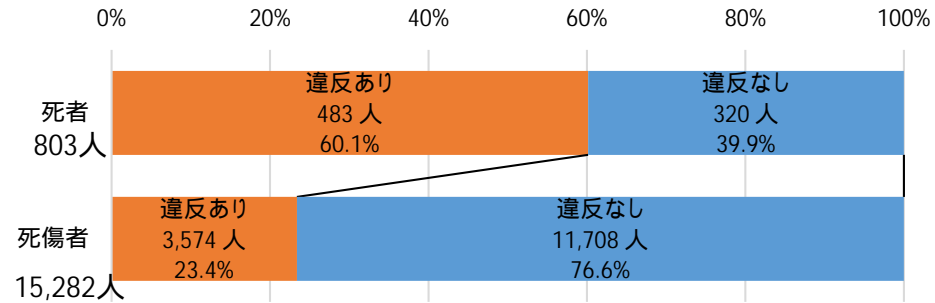
2 歩行中死者の状況 【 死傷者との比較】

年齢層別歩行中死者数（令和元年）



歩行中死者・死傷者（第1・第2当事者）の法令違反状況（令和元年）

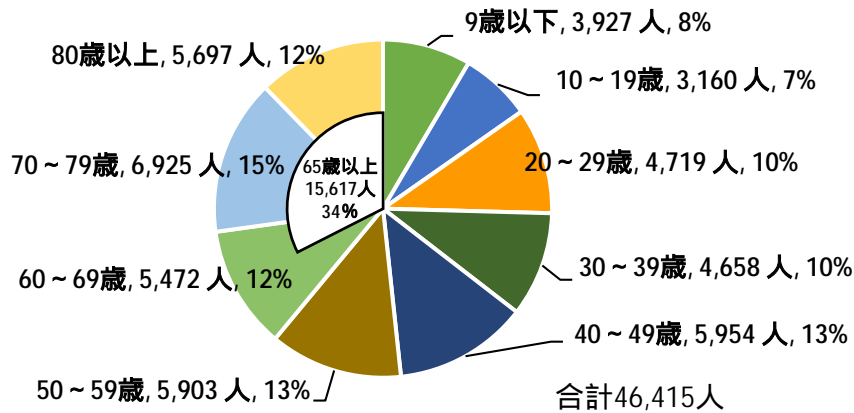
< 高齢者 >



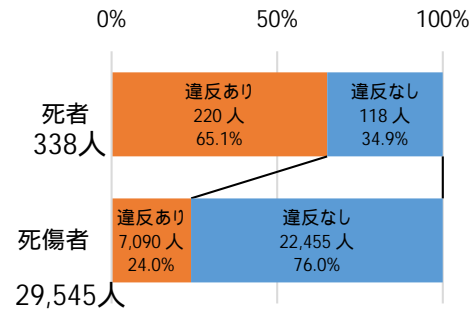
【(死者/死傷者)率】

(違反あり) 13.5% **約4.9倍** (違反なし) 2.7%

年齢層別歩行中死傷者数（令和元年）



< 高齢者以外 >



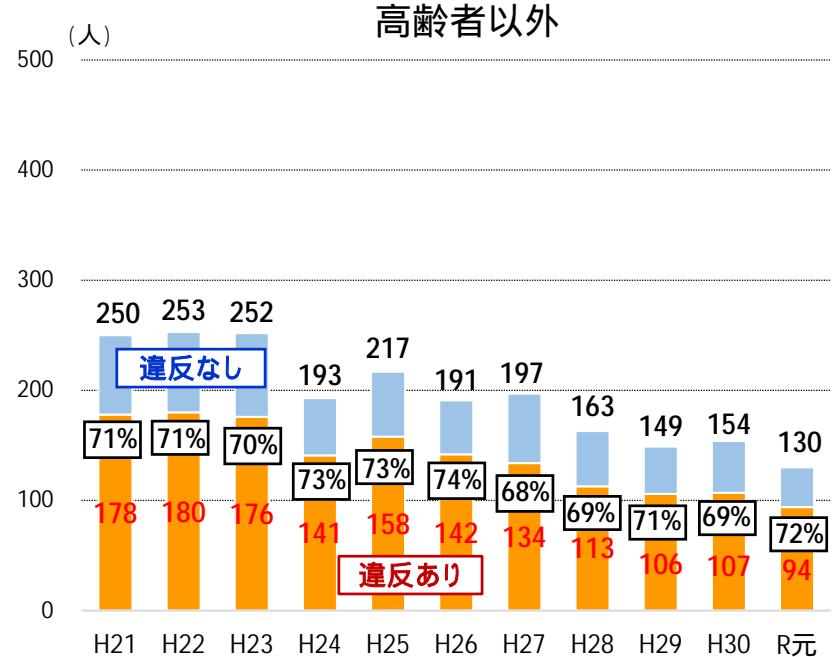
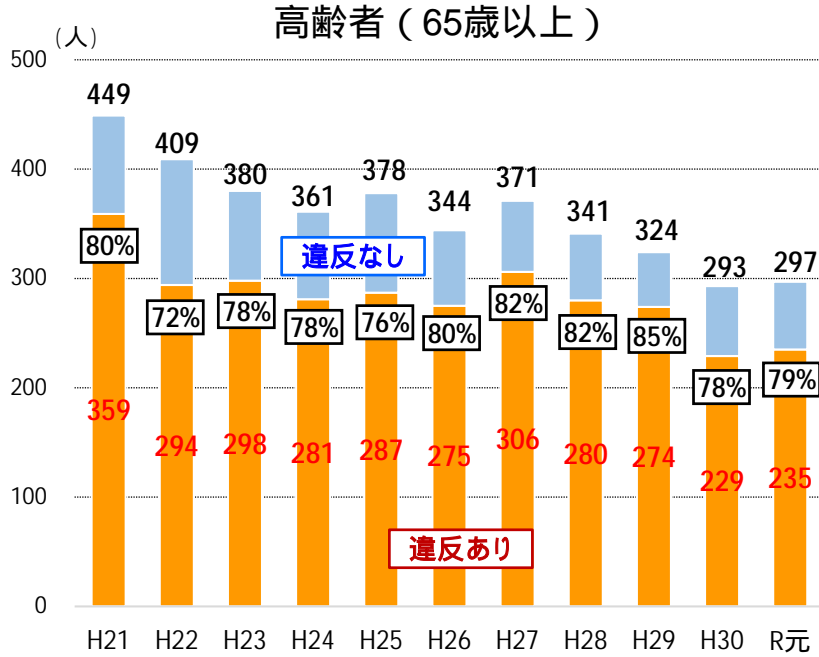
【(死者/死傷者)率】

(違反あり) 3.1% **約5.9倍** (違反なし) 0.5%

65歳以上違反ありの場合の(死者/死傷者)率は、65歳未満の4.4倍

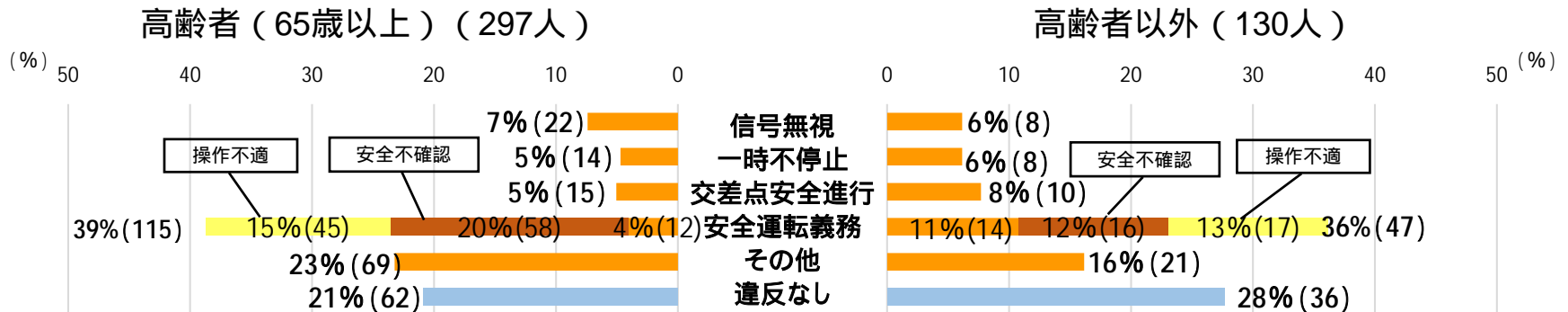
3 自転車乗用中死者の状況【 法令違反状況の推移】

自転車乗用中死者（第1・第2当事者）の法令違反状況の推移



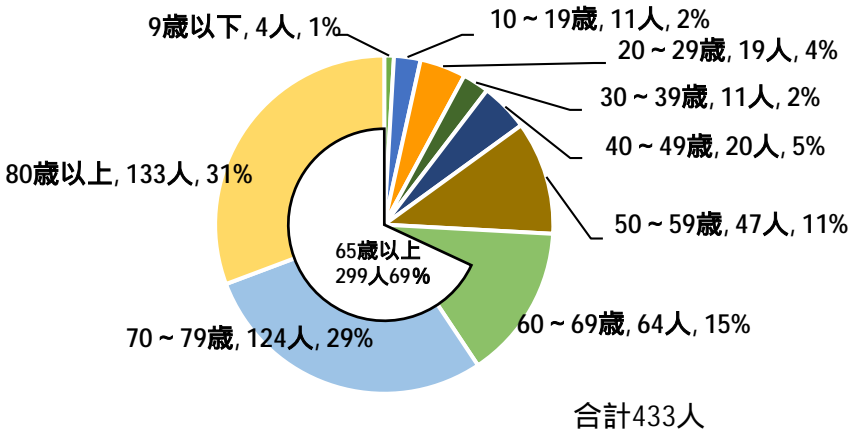
(注) ・「違反あり」には、「調査不能(違反種別が不明の場合)」等を含む。

自転車乗用中死者（第1・第2当事者）の法令違反別比較（令和元年）



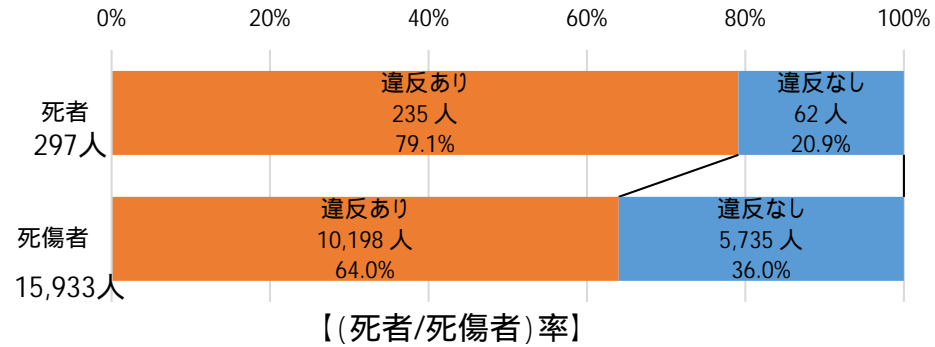
3 自転車乗用中死者の状況 【 死傷者との比較】

年齢層別自転車乗用中死者数（令和元年）



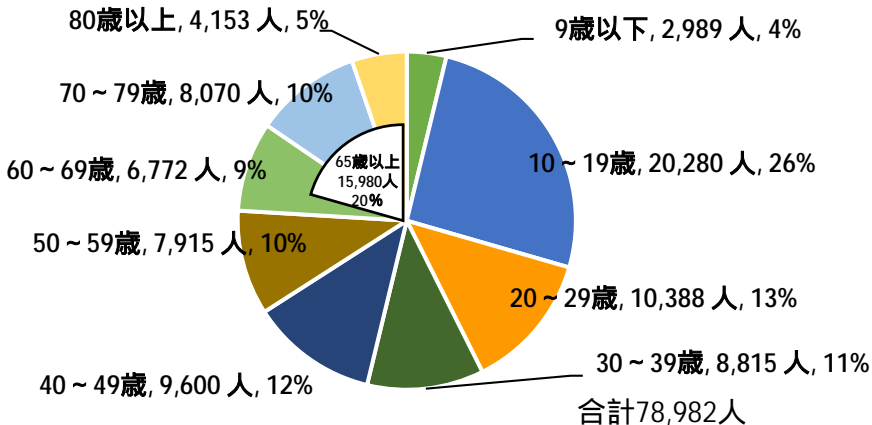
自転車乗用中死者・死傷者（第1・第2当事者）の法令違反状況（令和元年）

< 高齢者 >

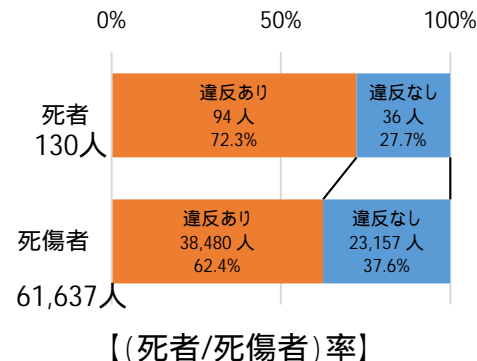


(違反あり) 2.3% **約2.1倍** (違反なし) 1.1%

年齢層別自転車乗用中死傷者数（令和元年）



< 高齢者以外 >

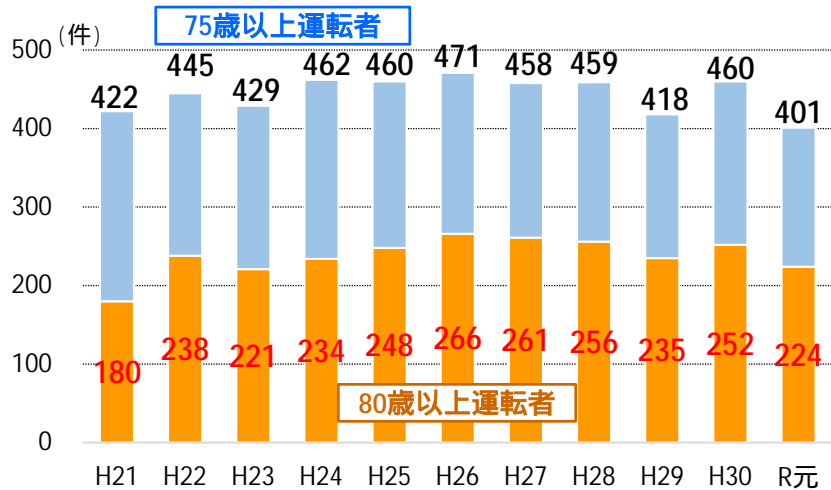


(違反あり) 0.24% **約1.6倍** (違反なし) 0.16%

65歳以上違反ありの場合の(死者/死傷者)率は、65歳未満の9.4倍

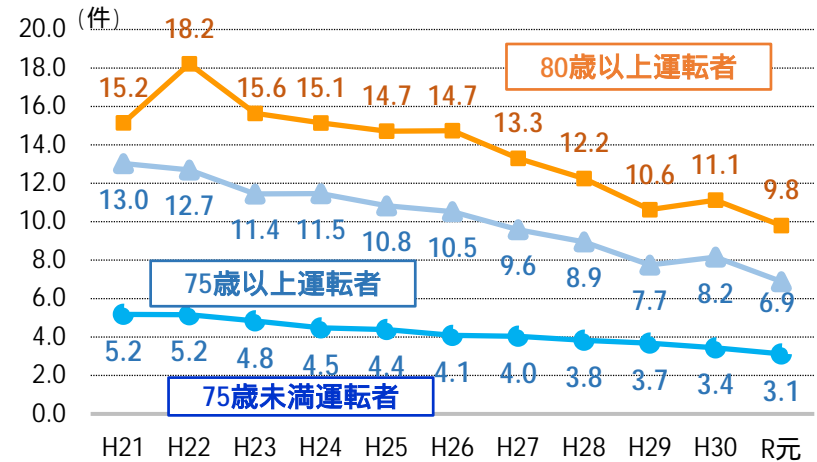
4 高齢運転者による交通死亡事故件数の推移

75歳以上・80歳以上
高齢運転者による死亡事故件数の推移



(注) ・ 第1当事者が原付以上の件数である。

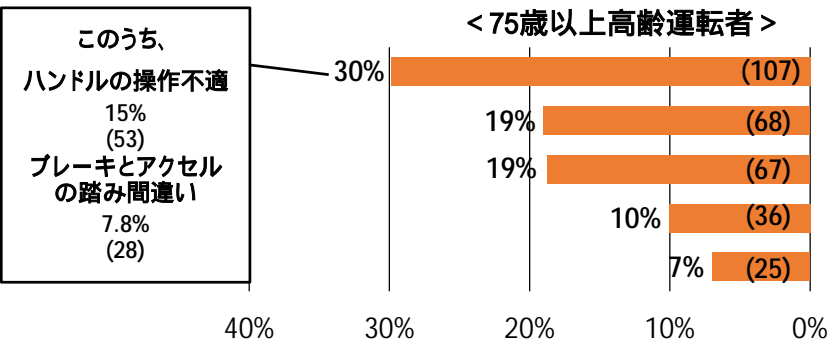
運転者（原付以上・第1当事者）による年齢層別
免許人口10万人当たり死亡事故件数の推移



(注) ・ 第1当事者が原付以上の件数である。
・ 算出に用いた免許人口は、各年12月末の値である。

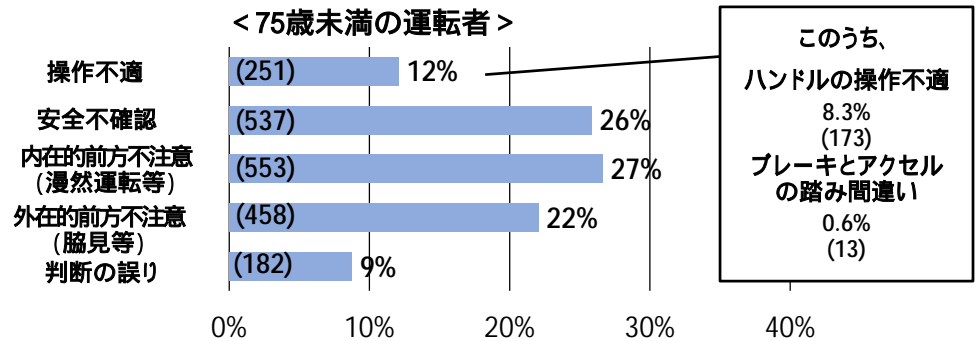
自動車運転者による年齢層別死亡事故の人的要因比較（令和元年）

< 75歳以上高齢運転者 >



死亡事故件数: 358件
調査不能が55件ある

< 75歳未満の運転者 >

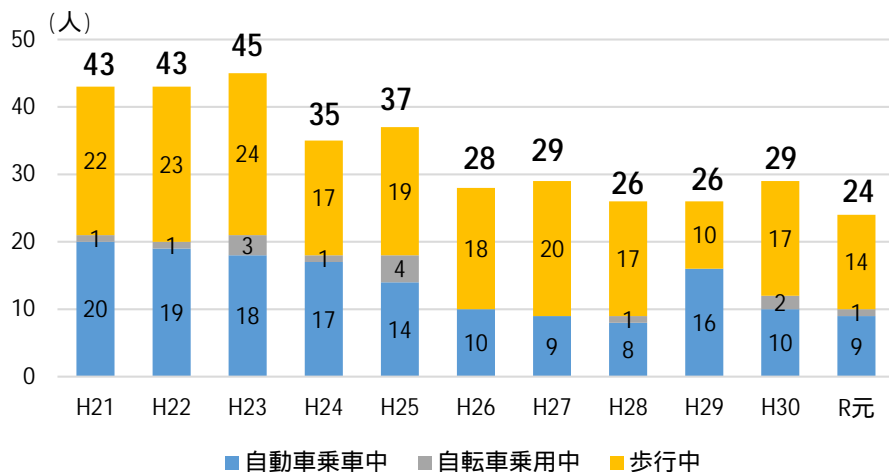


死亡事故件数: 2,076件
調査不能が95件ある

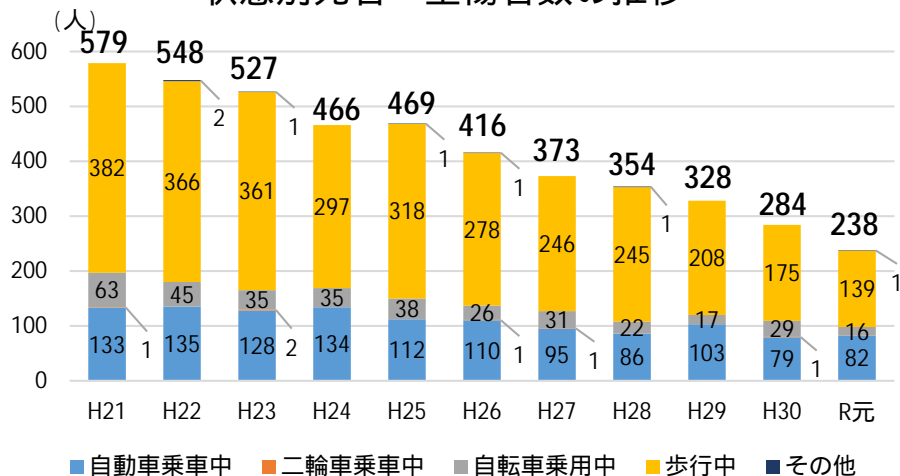
(注) ・ 第1当事者が乗用車、貨物車、特殊車の件数である。

5 幼児・小学生の交通事故死者数等の推移

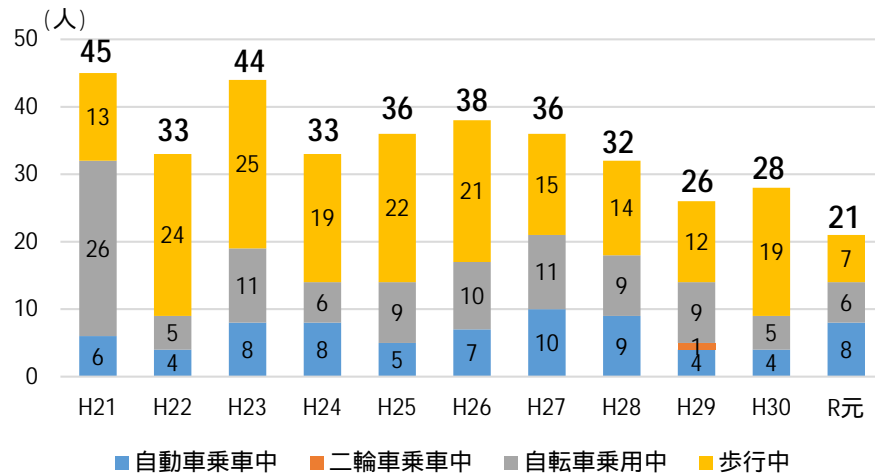
幼児（未就園児・就園児）の状態別交通事故死者数の推移



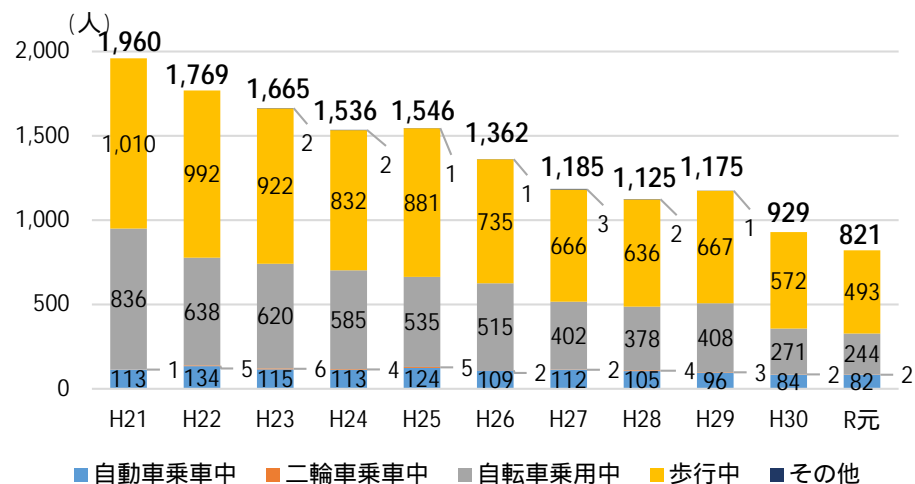
幼児（未就園児・就園児）の状態別死者・重傷者数の推移



小学生の状態別交通事故死者数の推移

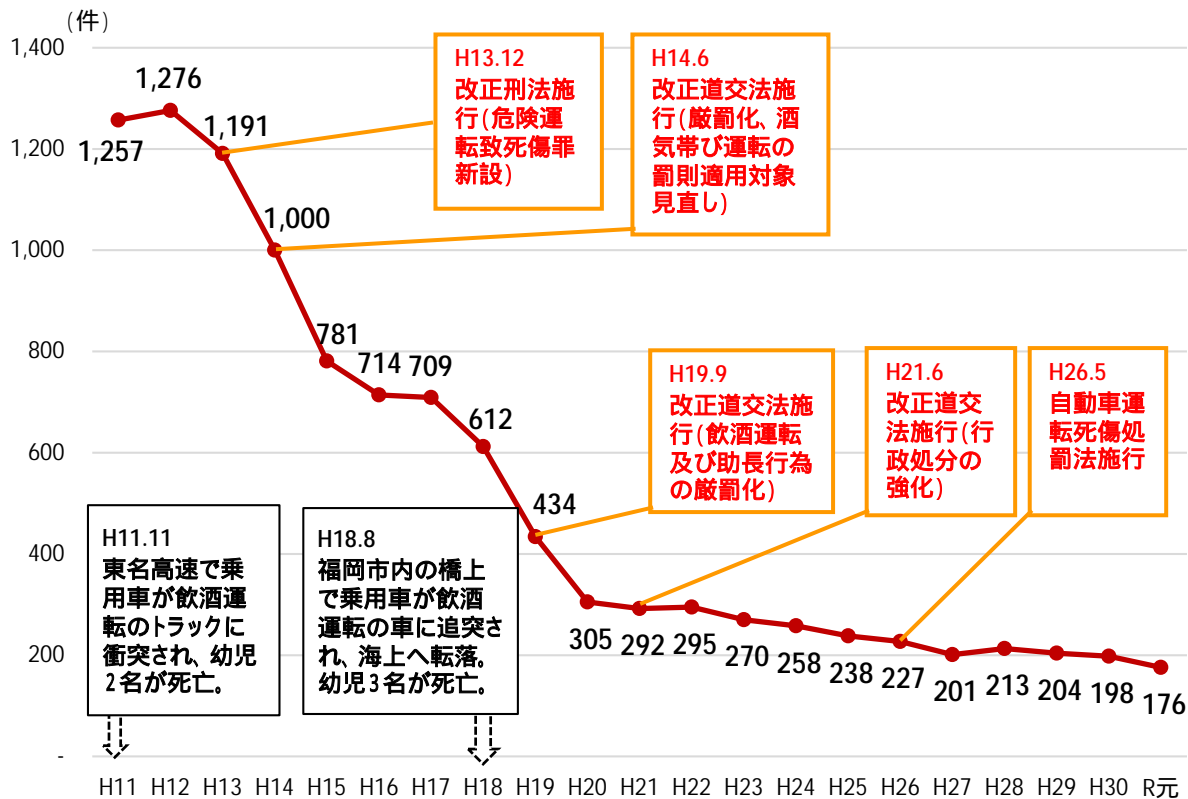


小学生の状態別死者・重傷者数の推移



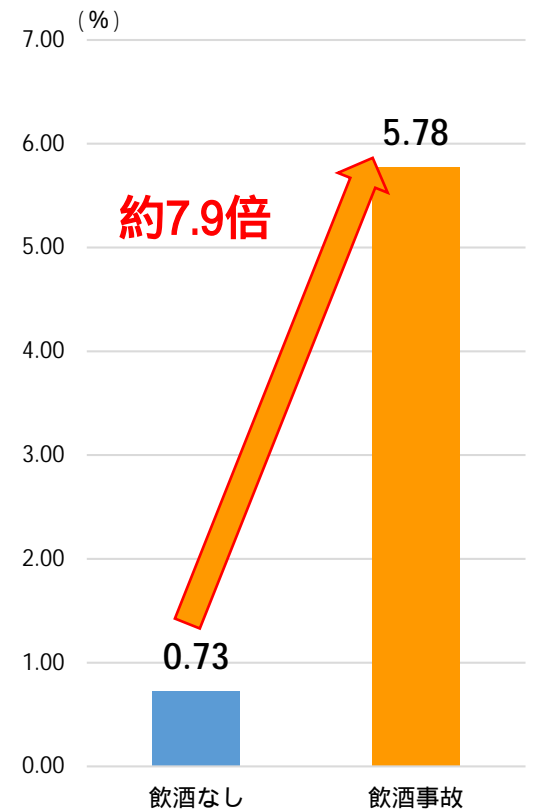
6 飲酒運転による交通事故に係る分析

飲酒死亡事故件数の推移



(注) ・ 第1当事者が原付以上の件数である。
 ・ 「飲酒死亡事故」とは、第1当事者の飲酒状況が酒酔い、酒気帯び、基準以下、検知不能のいずれかに該当する場合の死亡事故をいう。

死亡事故率比較 (令和元年)

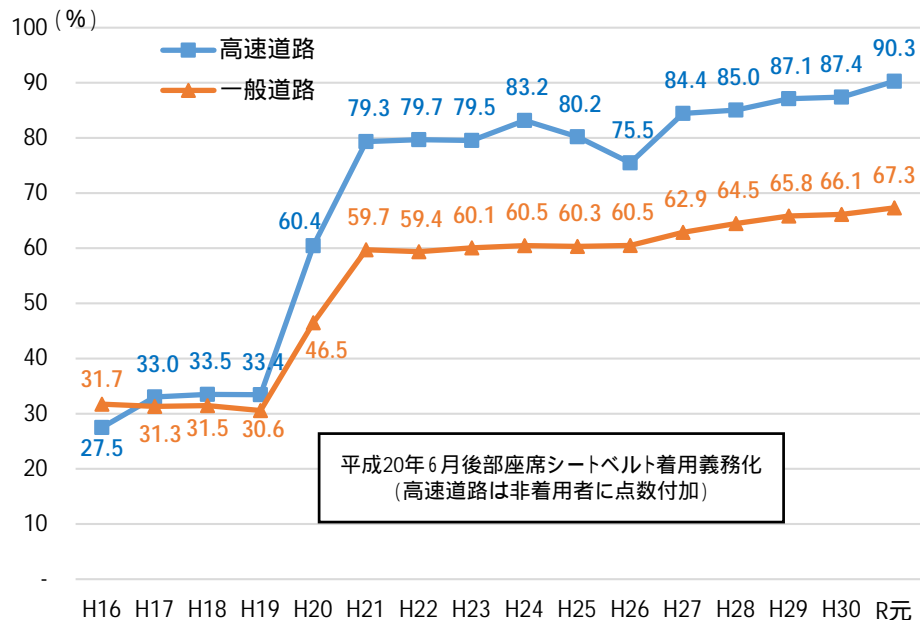


(注) ・ 調査不能は除外した。

- ・ 12月における取組の強化
 20件 → 13件(-7件)、年間では-22件

7 シートベルト着用状況(後部座席)に係る分析

自動車後部座席同乗中死傷者のシートベルト着用者率の推移

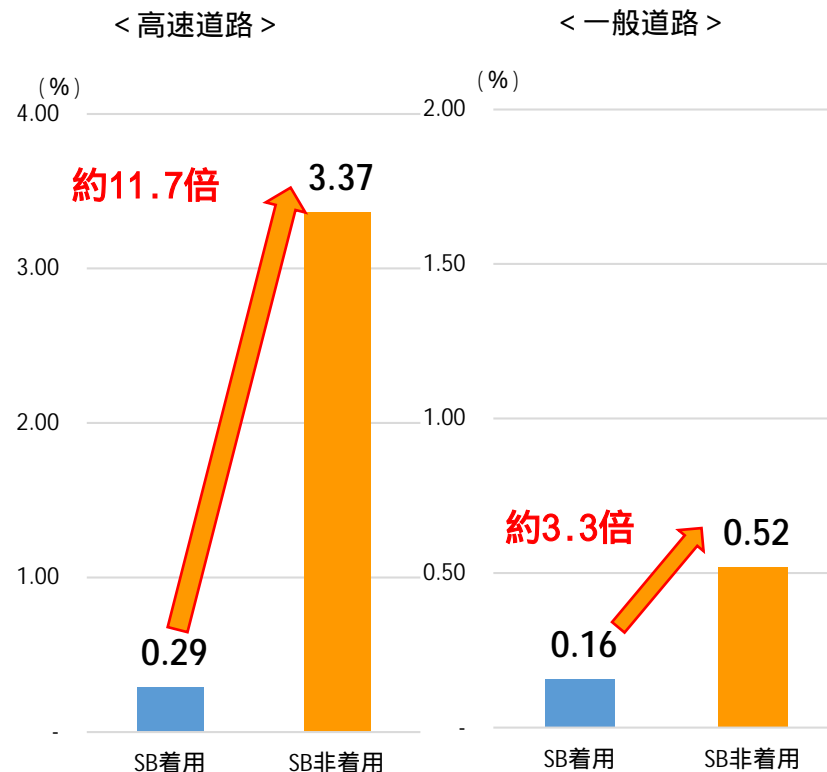


(参考)自動車後部座席同乗中シートベルト非着用死者数の推移

	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元
高速道路	48	38	22	23	15	14	22	23	15	32	18	17	11	12	9	18
一般道路	212	176	140	145	119	109	107	100	87	87	90	87	82	64	67	77

【参考】

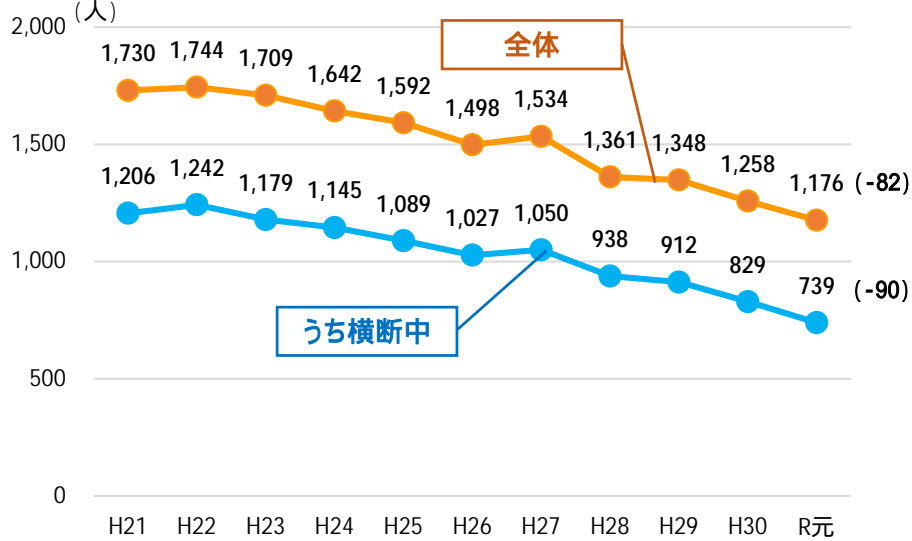
自動車後部座席同乗中死傷者のシートベルト着用・非着用別致死率
(過去10年(平成22~令和元年)合計)



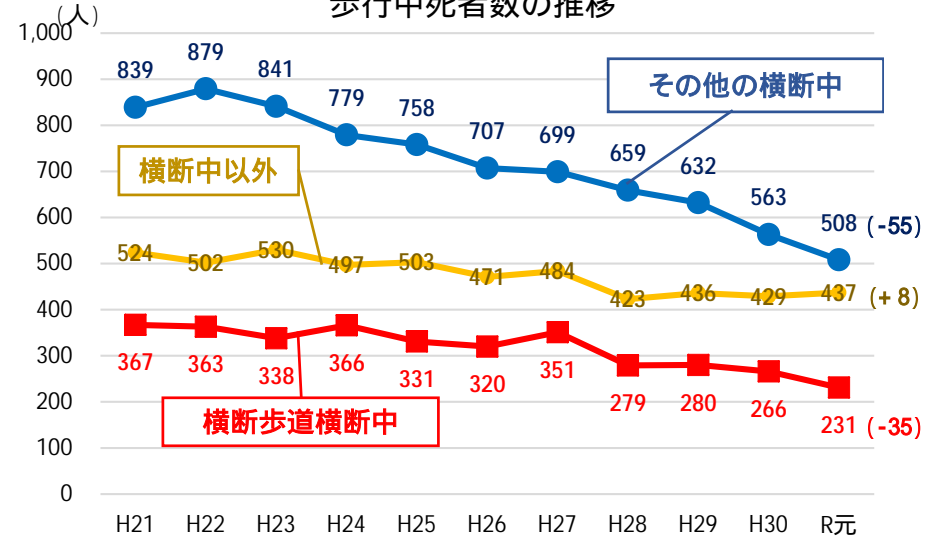
(注)・「後部座席」とは、乗用車、貨物車、特殊車の運転席及び運転席横の座席以外の座席に乗っていた者をいう(バスの座席、貨物車の寝台席を除く)。
 ・「シートベルト着用者率」は、死傷者数のうちシートベルト着用者の割合をいう。着用不明を除く。
 ・「致死率」は、死傷者のうち死者の割合をいう。

8 歩行中死者数の推移

歩行中死者数の推移

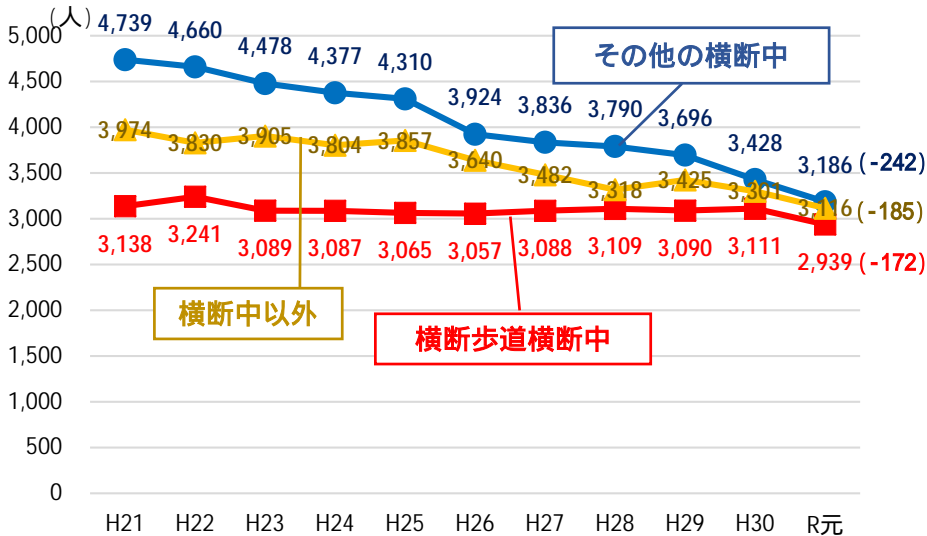


事故類型別行動類型別歩行中死者数の推移



(注)・「その他の横断中」は、横断歩道付近、横断歩道橋付近等を含む。

事故類型別行動類型別歩行中死者・重傷者数の推移



- ・ 横断歩道横断中以外の横断中死者の減少が全体の死者減に寄与
- ・ 昨年は横断歩道横断中の死者・重傷者も大きく減少した。
(3,111人→2,939人(-172人、-5.5%))

[参考] 歩行者妨害取締件数

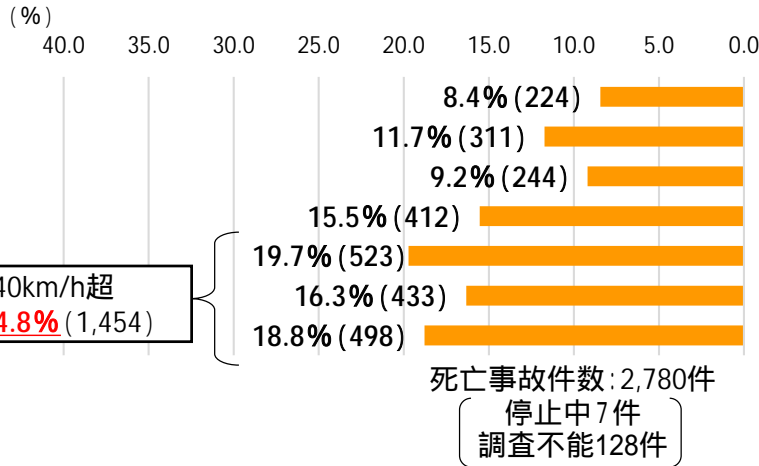
年	H27	H28	H29	H30	R元	対前年増減	
						数	率
	99,763	111,142	145,292	181,290	229,395	48,105	26.5

(注)・「その他の横断中」は、横断歩道付近、横断歩道橋付近等を含む。

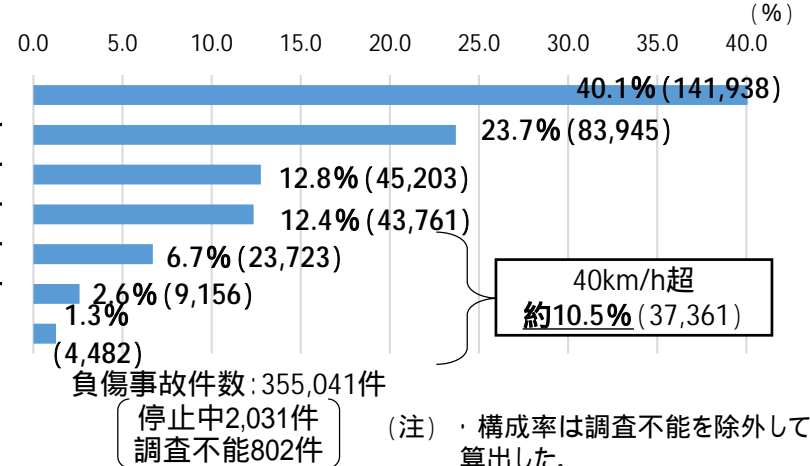
9 危険認知速度と交通死亡事故の相関に係る分析

危険認知速度別交通事故件数（令和元年）

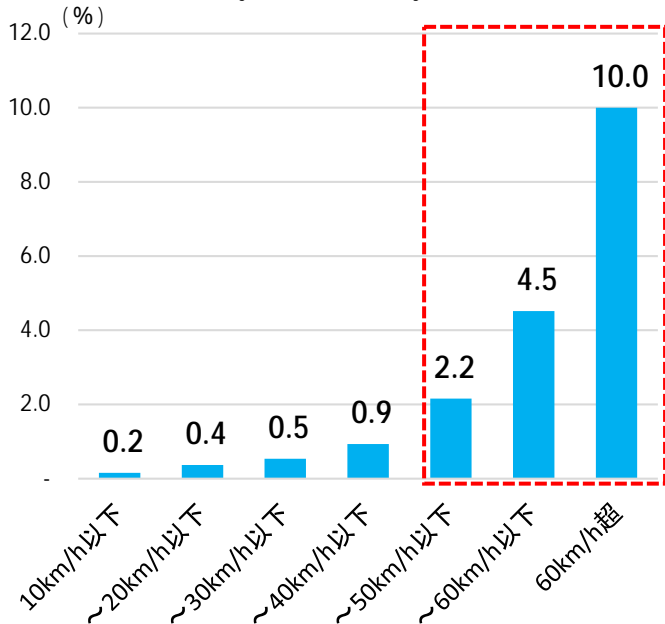
< 死亡事故 >



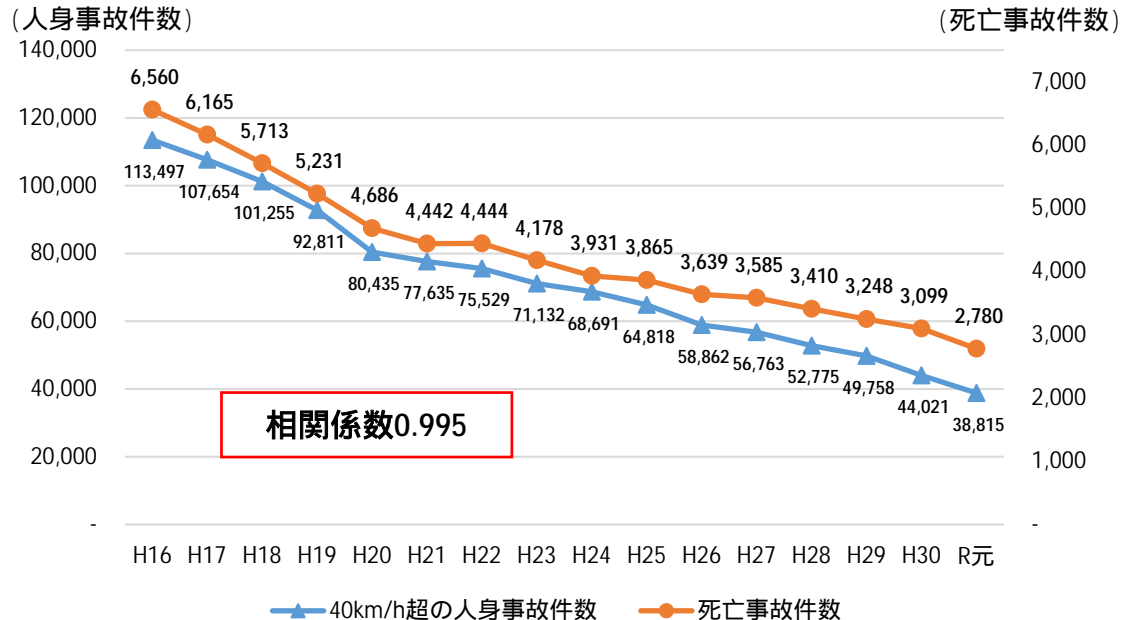
< 負傷事故 >



危険認知速度別死亡事故率（令和元年）



危険認知速度40km/h超の人身事故件数と死亡事故件数の推移



令和元年における交通事故死者数減少要因分析

状態別交通事故死者数

	過去5年平均		令和元年		過去5年最大減少		
	死者数	平均減少率	死者数	対前年増減率	最大減少率	年	
交通事故死者数	3,872.0	-3.9%	3,215	-9.0%	-6.3%	H25 H26	
状態別	自動車乗車中	1,289.6	-3.1%	1,083	-9.5%	-8.7%	H28 H29
	二輪車乗車中	660.6	-3.9%	510	-16.8%	-8.4%	H25 H26
	自動二輪車乗車中	439.6	-2.8%	361	-10.0%	-10.5%	H29 H30
	原付車乗車中	221.0	-5.6%	149	-29.7%	-17.9%	H28 H29
	自転車乗用中	510.6	-4.9%	433	-4.4%	-11.0%	H27 H28
	歩行中	1,399.8	-4.2%	1,176	-6.5%	-11.3%	H27 H28
	その他	11.4	-4.3%	13	18.2%	-42.9%	H25 H26

高齢者（65歳以上）の状態別死者数

	過去5年平均		令和元年		過去5年最大減少		
	死者数	平均減少率	死者数	対前年増減率	最大減少率	年	
交通事故死者数	2,112.8	-3.0%	1,782	-9.4%	-5.5%	H28 H29	
状態別	自動車乗車中	618.2	0.6%	552	-12.5%	-10.0%	H28 H29
	二輪車乗車中	150.6	-5.1%	101	-26.3%	-11.2%	H26 H27
	自動二輪車乗車中	42.4	-4.3%	27	-25.0%	-25.0%	H29 H30
	原付車乗車中	108.2	-5.4%	74	-26.7%	-19.7%	H27 H28
	自転車乗用中	335.8	-4.5%	299	1.7%	-9.8%	H29 H30
	歩行中	1,001.4	-4.0%	819	-8.9%	-7.5%	H29 H30
	その他	6.8	-10.9%	11	120.0%	-45.5%	H25 H26



飲酒及び高齢運転者事故

	過去5年平均		令和元年		過去5年最大減少	
	件数	平均減少率	件数	対前年増減率	最大減少率	年
飲酒死亡事故件数	208.6	-3.4%	176	-11.1%	-11.5%	H26 H27
75歳以上運転者による死亡事故件数	453.2	0.0%	401	-12.8%	-8.9%	H28 H29

【参考】車種別車両保有台数

	平成25年	平成29年	平成30年	対前年増減		指数 (H25を100とした場合)
				対前年増減数	対前年増減率	
二輪車 計	11,907,584	11,031,992	10,814,060	-217,932	-2.0	91
自動二輪 (小型・軽二輪・原付二種)	5,245,777	5,416,632	5,460,587	43,955	0.8	104
原付(原付一種)	6,661,807	5,615,360	5,353,473	-261,887	-4.7	80

(注) ・ 過去5年平均は、平成26年～平成30年の値である。

(注) 国土交通省統計資料「自動車保有車両数月報」(各年12月末現在)による。ただし、原付二種、原付一種については、総務省統計資料「市町村税課税状況等の調」(各年7月1日現在)による。

昨年中強化した対策と死亡事故抑止効果

- ・ 横断歩行者対策の強化
 - 歩行者妨害取締件数の増加 +4万8,105件、+26.5%
 - 歩行者の横断中死者数の減少 -90人、-10.9%
- ・ 適切な速度取締り
 - 自動車乗車中死者数の減少 -114人、-9.5%
- ・ 12月における取組の強化
 - 12月の死者数の減少 -54人、-13.2%

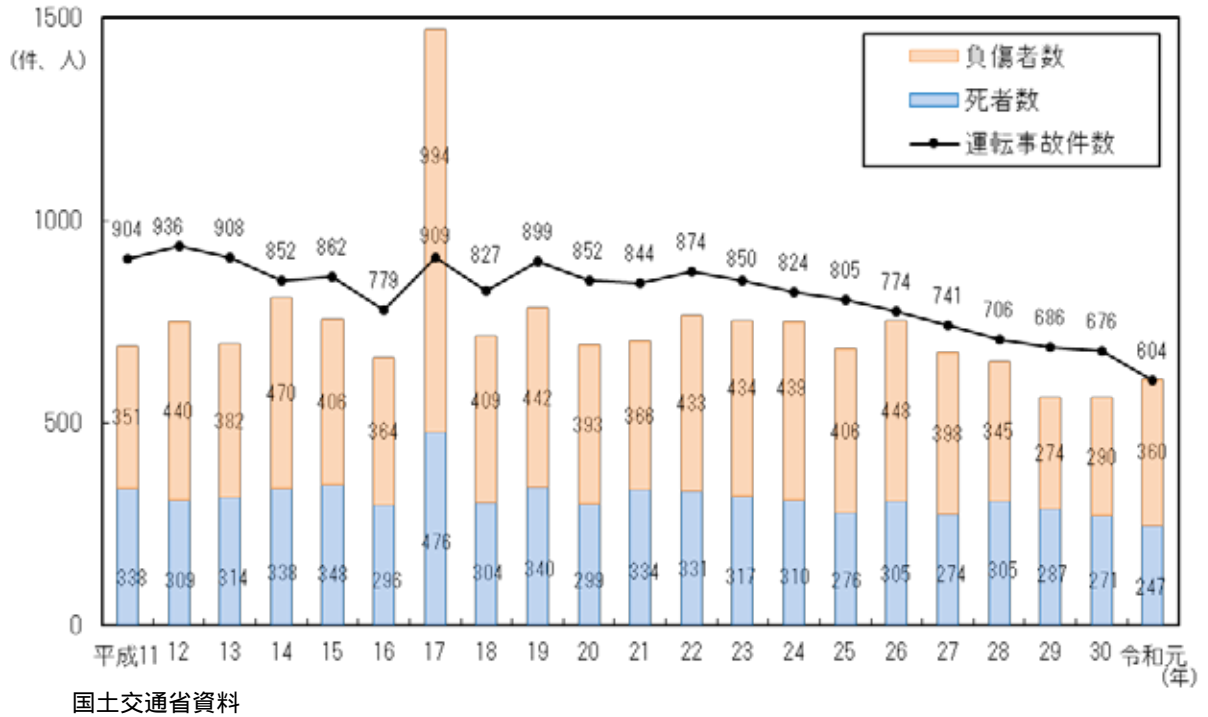
本年の取組

- ・ 横断歩行者対策
- ・ 生活道路を含む速度取締り
- ・ 自転車の安全対策
- ・ シートベルト着用の促進

令和元年中の交通事故等発生状況(鉄軌道・踏切道・海上・航空)

1. 鉄軌道の運転事故の発生状況

(1) 鉄軌道運転事故の件数と死傷者数の推移



(2) 鉄軌道における事故種類別の運転事故の発生状況(令和元年分)

区分	列車事故				その他の事故				合計	
	列車衝突	列車脱線	列車火災	小計	踏切障害	道路障害	人身障害	物損		小計
件数(件)	2	12	0	14	205	36	346	3	590	604
	0.3%	2.0%	0.0%	2.3%	33.9%	6.0%	57.3%	0.5%	97.7%	100.0%
死傷者(人)	6	81	0	87	135	19	366		520	607
	(0)	(1)	(0)	(1)	(91)	(2)	(153)		(246)	(247)

注 1 ()内は、死亡者で死傷者の内数である。

2 踏切障害とは、踏切道において列車又は車両が道路を通行する人又は車両等と衝突し、又は接触した事故のうち列車事故に至らなかったもの。

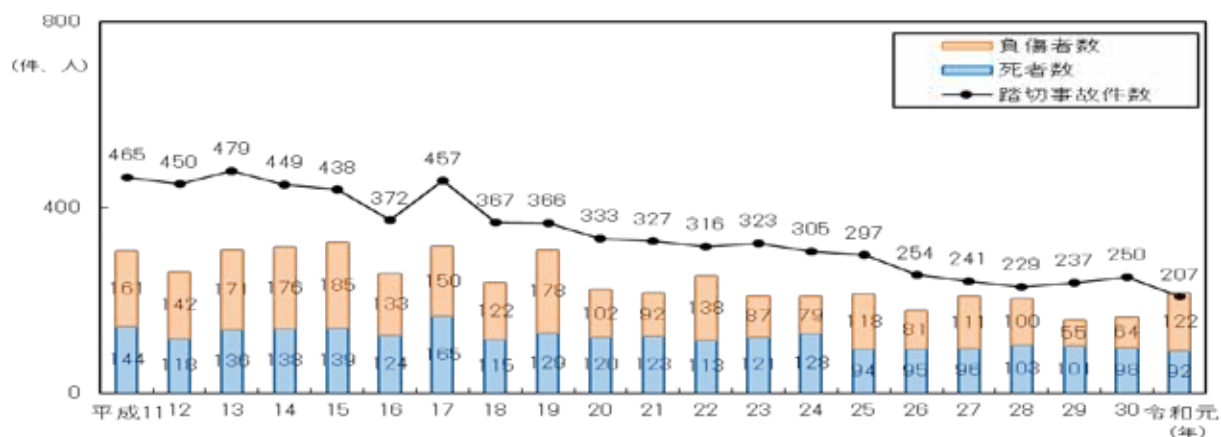
3 道路障害とは、踏切道以外の道路において、列車又は車両が道路を通行する人又は車両等と衝突し、又は接触した事故のうち列車事故に至らなかったもの。

4 人身障害とは、列車又は車両の運転により人の死傷を生じた事故をいう(列車事故、踏切障害及び道路障害を除く)。

5 物損とは、列車又は車両の運転により500万円以上の物損を生じた事故をいう(列車事故、踏切障害、道路障害及び人身障害を除く)。

2. 鉄軌道踏切事故の発生状況

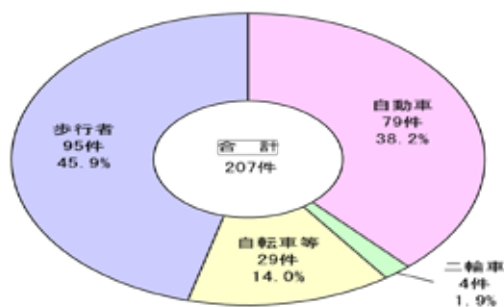
(1) 鉄軌道踏切事故の件数と死傷者数の推移



注 1 国土交通省資料による。

2 死者数は24時間死者。

(2) 衝撃物別踏切事故発生件数(令和元年分)



国土交通省資料

(3) 踏切道種別の踏切事故発生件数

(令和元年)

踏切道	踏切道数	件数	構成率 (踏切道)	100か所当たりの 事故件数
	か所	件	%	件
第1種	29,748	175	89.9	0.59
第2種				
第3種	698	6	2.1	0.86
第4種	2,652	26	8.0	0.98
計	33,098	207	100.0	0.63
(参考)				
第3,4種計	3,350	32	10.1	0.96

注 1 国土交通省資料による。

2 踏切道種別は、次による。

第1種 自動遮断機が設置されている踏切道又は踏切保安係が遮断機を操作している踏切道

第3種 遮断機はないが警報機が設置されている踏切道

第4種 踏切保安係もおらず、遮断機も警報機も設置されていない踏切道

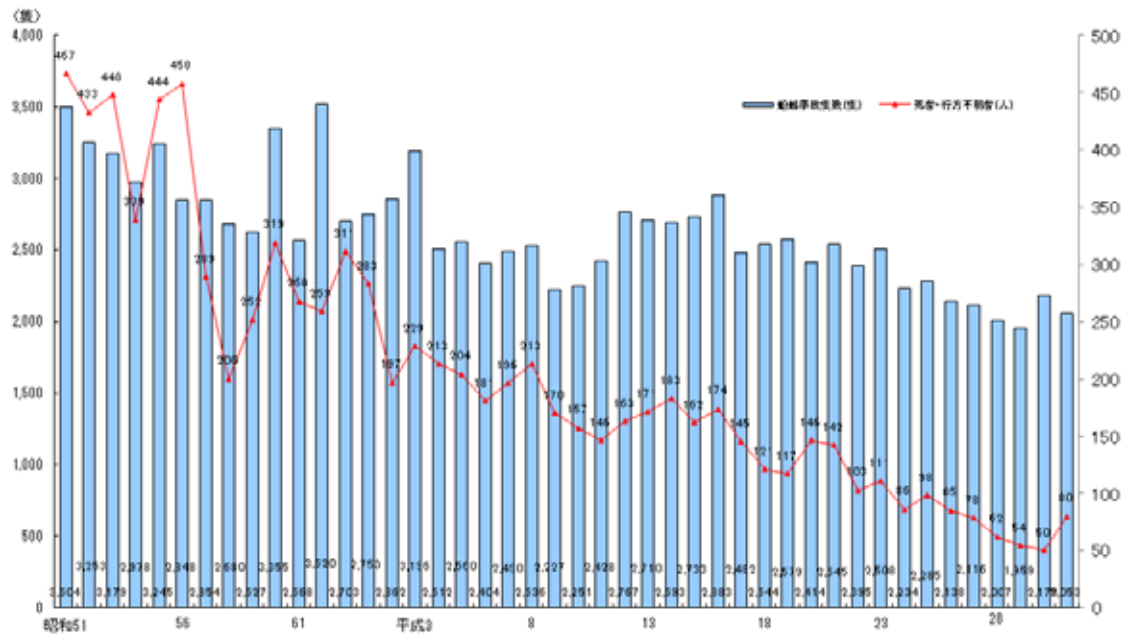
第2種については、現在設置されているものはない。

3 踏切道数は、平成30年度末の数字である。

4 100か所当たり件数とは、踏切道100か所当たりの踏切事故件数である。

3 海難等の状況

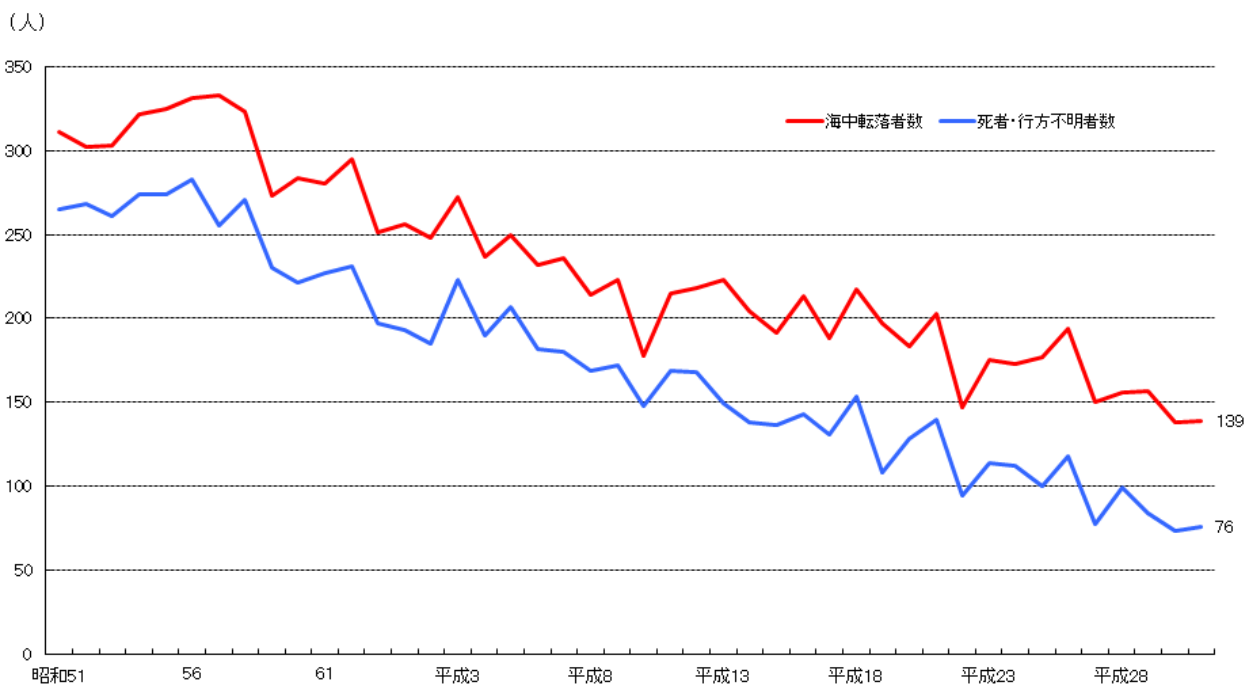
(1) 船舶事故隻数及びそれに伴う死者・行方不明者数の推移



注 1 海上保安庁資料による。

2 死者・行方不明者には、病気等によって操船が不可能になったことにより、船舶が漂流するなどの海難が発生した場合の死亡した操船者を含む。

(2) 船舶からの海中転落者数及び死亡・行方不明者数の推移



注 海上保安庁資料による。

(3) 海難船舶の状況

海難船舶：2,053 隻、208 万総トン

船舶の用途別

用途	隻数	割合
プレジャーボート	969	47%
漁船	509	25%
貨物船	251	12%
タンカー	71	4%
遊漁船	69	3%
旅客船	44	2%
その他	140	7%

海難種類別状況

海難種類	隻数	割合
衝突	441	22%
単独衝突	133	6%
乗揚	304	15%
転覆	105	5%
浸水	120	6%
火災	57	3%
爆発	2	1%
運航不能（機関故障）	302	15%
運航不能（推進器・舵障害）	167	8%
運航不能（無人漂流）	131	6%
運航不能その他	273	13%
その他	18	1%

距岸別状況

海難発生場所	隻数	割合
港内	890	44%
港内を除く 3 海里未満	867	42%
3 海里以上 12 海里未満	219	11%
12 海里以上	77	3%

海難原因別状況

海難原因	隻数	割合
見張り不十分	382	19%
操船不適切	271	13%
機関取扱不良	202	10%
気象海象不注意	121	6%
水路調査不十分	87	4%
船位不確認	74	4%
居眠り運航	47	2%
その他	869	42%

(4) 死者・行方不明者の発生状況

船舶事故による死者・行方不明者：80人（前年より30人増加）

用途	平成30年(50人)		令和元年(80人)	
	人数	割合	人数	割合
漁船	32	64%	49	61%
プレジャーボート等	17	34%	15	19%

注：死者・行方不明者には、病気等によって操船が不可能になったことにより、船舶が漂流するなどの海難が発生した場合の死亡した操船者を含む。

船舶からの海中転落による死者・行方不明者数：76人（前年より3人増加）

用途	平成30年(73人)		令和元年(76人)	
	割合		割合	
漁船	64%		67%	
プレジャーボート等	12%		17%	

4 航空事故発生件数及び死傷者数の推移

年	区分	発生件数							死傷者数		
		大型 飛行機	小型 飛行機	超軽量 動力機	ヘリコ プター	ジャイロ プレーン	滑空機	飛行船	計	死亡者	負傷者
平成27		件	件	件	件	件	件	件	件	人	人
		3	9	3	3	1	8	0	27	10	42
28		3	4	1	2	0	4	0	14	8	14
29		3	8	3	5	1	2	0	22	22	6
30		5	3	4	3	0	1	0	16	11	5
令和元		5	1	2	2	0	3	0	13	1	12

- 注 1 国土交通省資料による。
- 2 各年12月末現在の値である。
- 3 日本の国外で発生した我が国の航空機に係る事故を含む。
- 4 日本の国内で発生した外国の航空機に係る事故を含む。
- 5 事故発生件数及び死傷者数には、機内における自然死、自己又は他人の加害行為に起因する死亡等に係るものは含まない。
- 6 死亡者数は、30日以内死亡者数であり、行方不明者等が含まれる。
- 7 大型飛行機は最大離陸重量 5.7 トンを超える飛行機、小型飛行機は最大離陸重量 5.7 トン以下の飛行機である。

海外の交通事故発生状況

令和元年版交通安全白書より

1 概況（第1図、第2図）

国際道路交通事故データベース（IRTAD）がデータを有する30か国について、人口10万人当たりの死者数を比較すると、我が国は3.5人（2017年）であり、第7位に位置している。

2 状態別交通事故死者数の状況（第3図）

我が国と主な欧米諸国（スウェーデン、イギリス、ドイツ、フランス及びアメリカ（以下、同じ））の状態別交通事故死者数の状況を見ると、我が国は乗用車乗車中の死者数の構成率が他国と比較して低く、歩行中及び自転車乗用中の死者数の構成率が高い。

3 年齢層別交通事故死者数の状況（第4図）

我が国と主な欧米諸国の年齢層別交通事故死者数の状況を見ると、我が国は、65歳以上の年齢層の死者数の構成率が他国と比較して際立って高い。一方、主な欧米諸国では、15～24歳の年齢層の死者数の構成率が我が国よりも高く、それぞれの人口構成率を上回っている。

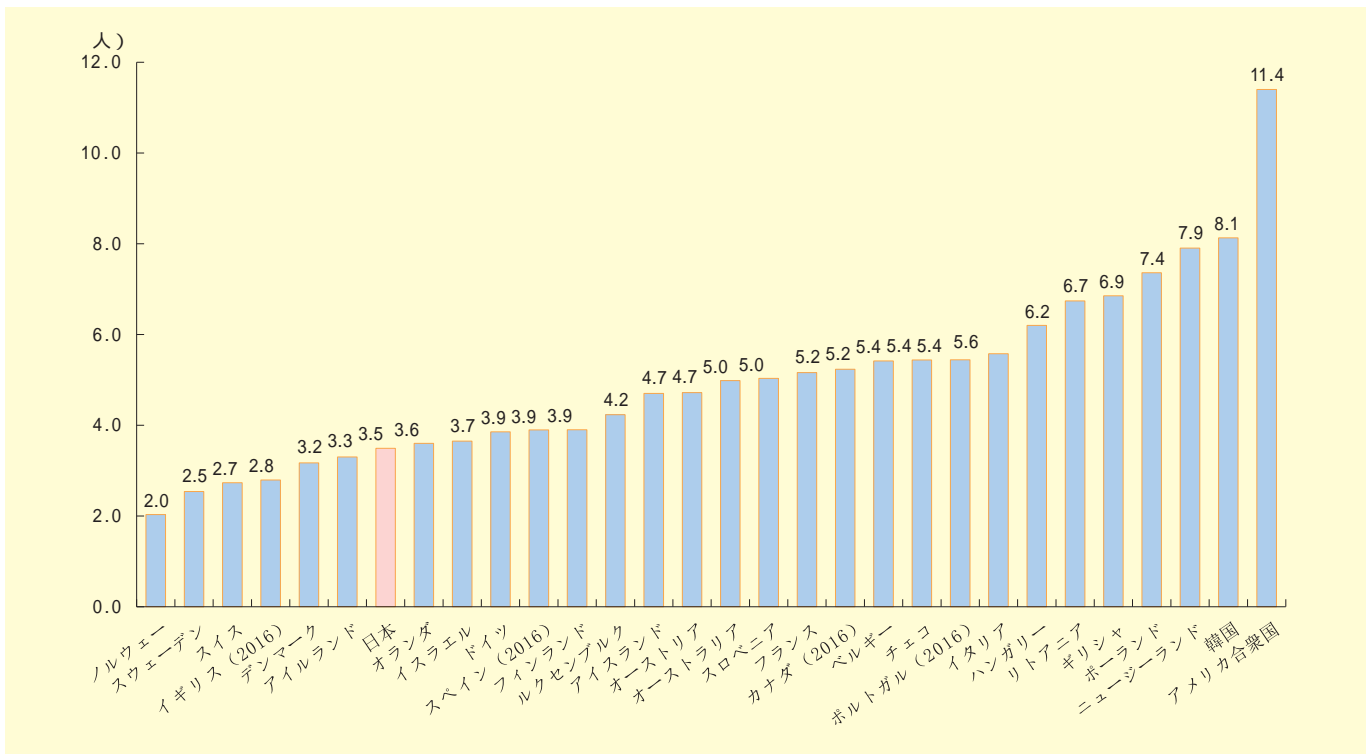
4 状態別・年齢層別交通事故死者数の状況（第5図）

我が国と主な欧米諸国の状態別・年齢層別交通事故死者数の状況を見ると、我が国は、歩行中については、65歳以上の構成率が他国と比較して高い。自転車については、0～14歳の構成率が他国と比較して高い。二輪車については15歳～24歳の構成率が他国と比較して高い。

5 自動車1万台当たりの交通事故死者数及び自動車走行1億キロメートル当たり交通事故死者数の状況（第1表）

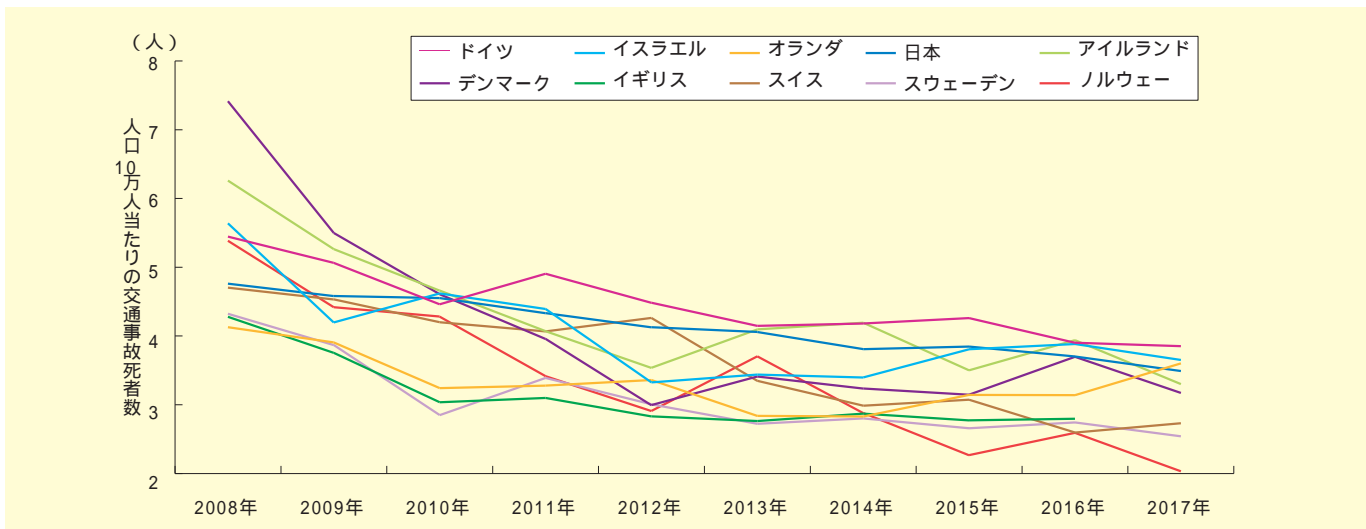
我が国と主な欧米諸国の自動車1万台当たりの交通事故死者数の状況を見ると、小さい順にスウェーデン、イギリス、日本、ドイツ、フランス、アメリカと、人口10万人当たりの死者数と同じ順序。また、自動車走行1億キロメートル当たり交通事故死者数の状況を見ると、小さい順にスウェーデン、イギリス、ドイツ、フランス、日本、アメリカの順となっている。

▶ 第1図 人口10万人当たりの交通事故死者数(2017年)

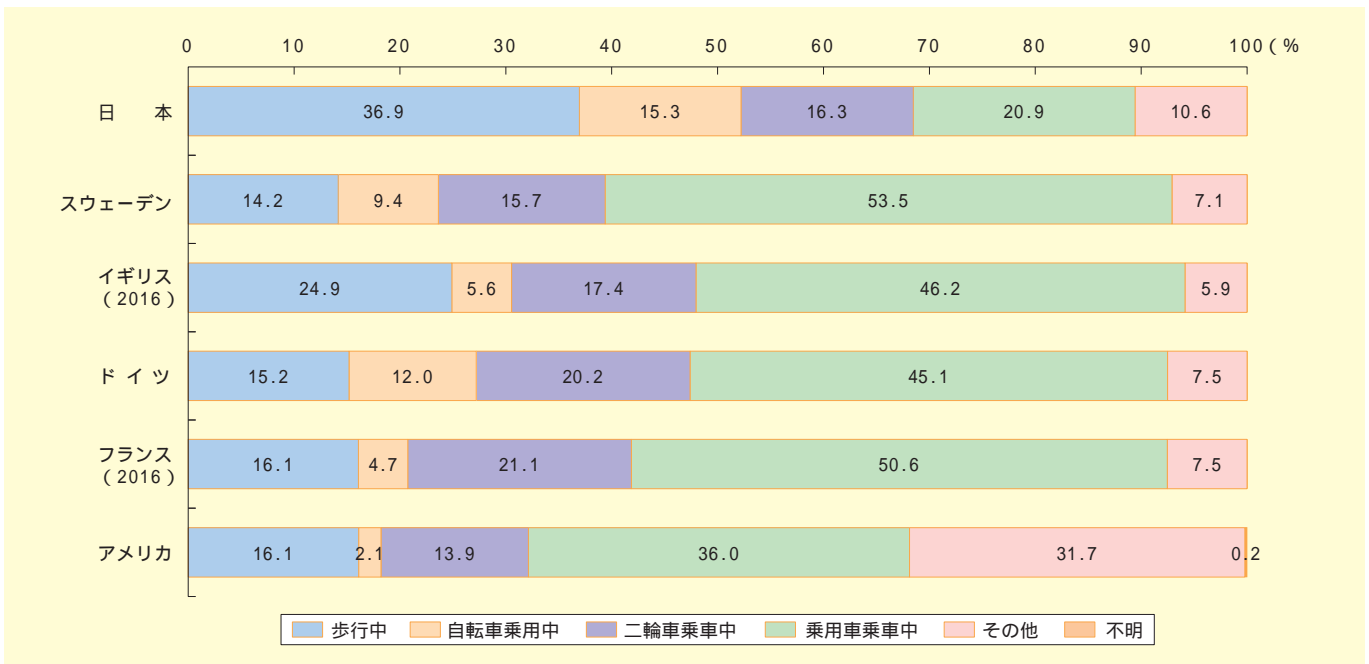


注 1 IRTAD資料による。以下、第1表まで同じ。ただし、2017年のオランダのデータについては、Road Safety Annual Report2018による。第2図も同じ。
 2 死者数の定義は事故発生後30日以内の死者である。以下、第1表まで同じ。
 3 IRTADがデータを有する30カ国の人口10万人当たりの交通事故死者数を左から小さい順に記載。

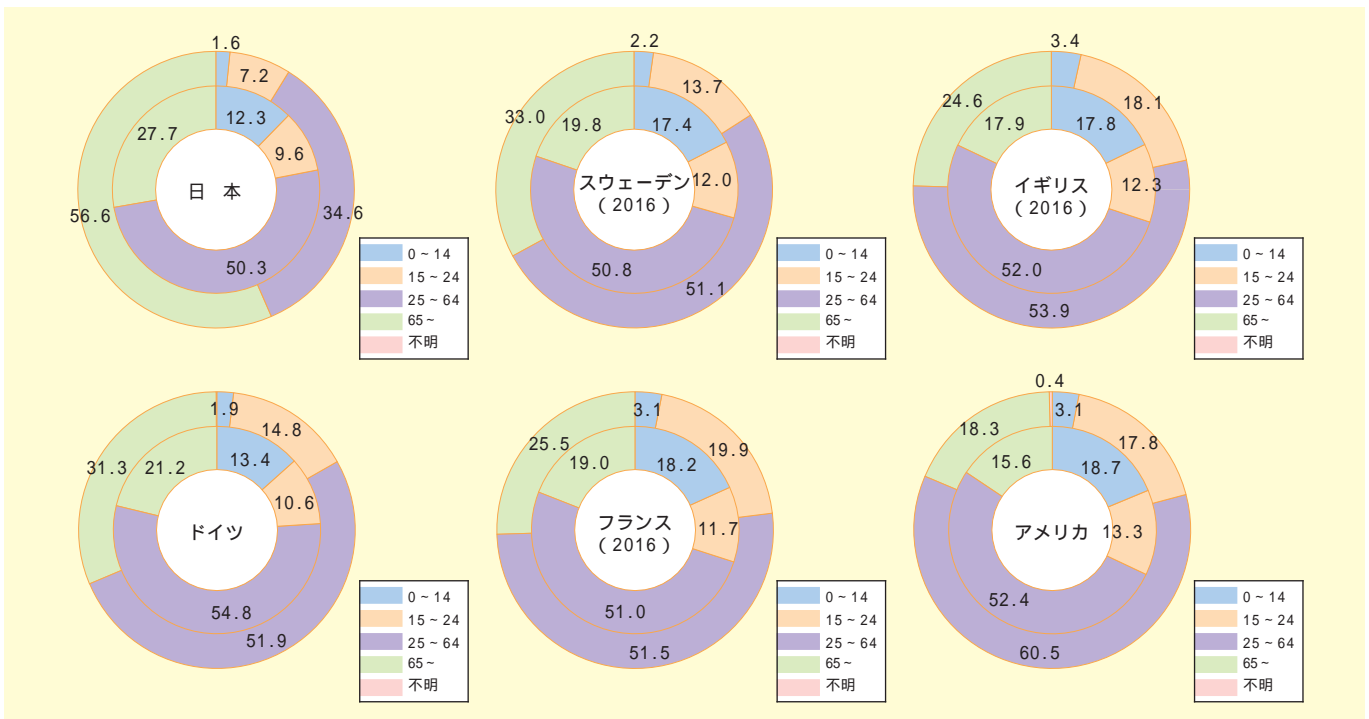
▶ 第2図 人口10万人当たりの交通事故死者数上位国の推移(2008～2017年)



▶ 第3図 我が国と主な欧米諸国の状態別交通事故死者数の構成率(2017年)

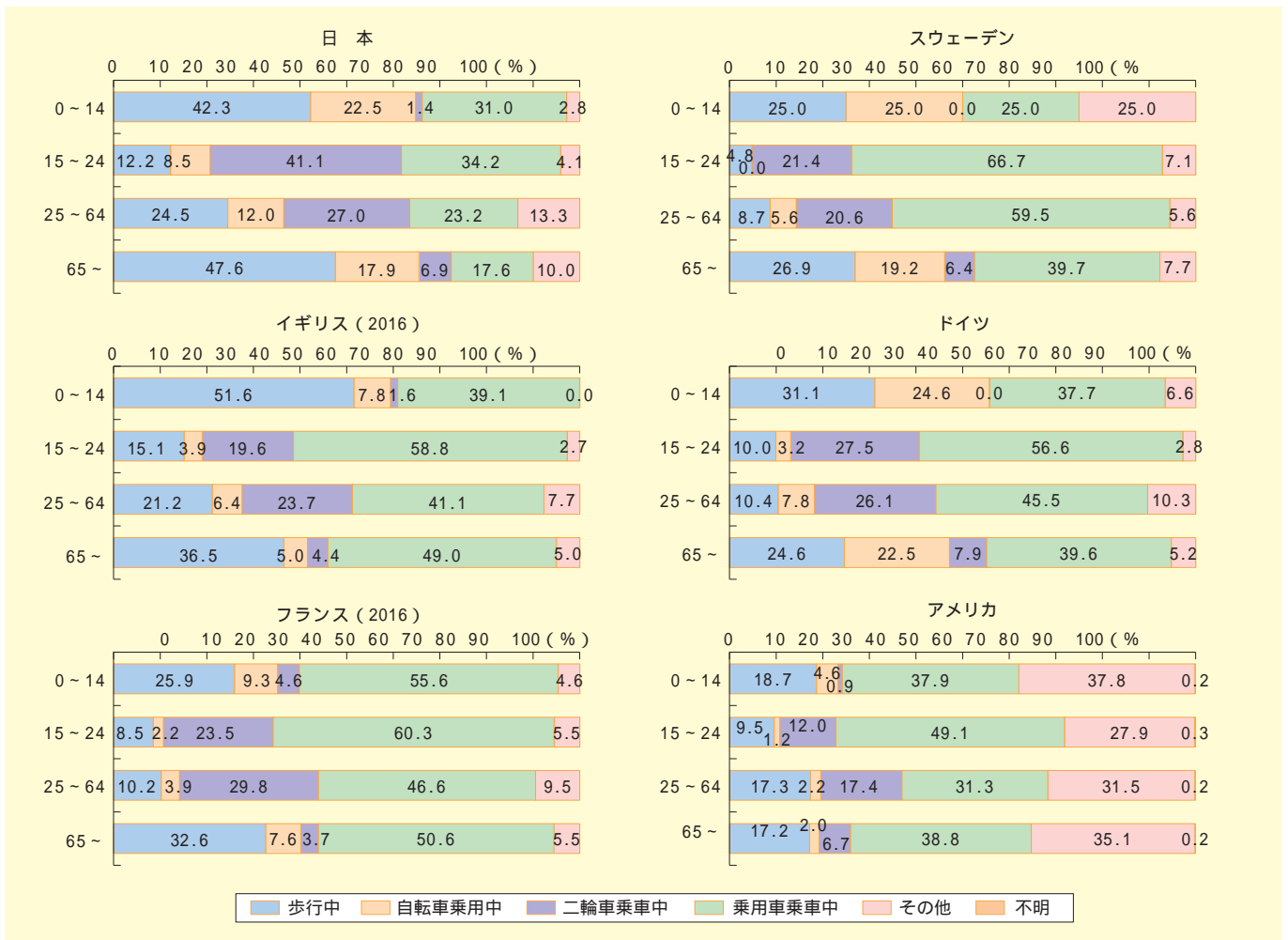


▶ 第4図 我が国と主な欧米諸国の年齢層別交通事故死者数の構成率と人口構成率(2017年)



注 1 外円は交通事故死者数, 内円は人口の構成率 (%)

▶ 第5図 我が国と主な欧米諸国の状態別・年齢層別交通事故死者数の構成率(2017年)



▶ 第1表 我が国と主な欧米諸国の自動車1万台当たりの交通事故死者数及び自動車走行1億キロメートル当たり交通事故死者数の状況(2017年)

事 項	日本	スウェーデン	イギリス	ドイツ	フランス	アメリカ
自動車1万台当たり死者数(人)	0.58	(16) 0.50	(16) 0.51	0.63	(16) 0.89	(16) 1.35
自動車走行1億キロメートル当たり死者数(人)	0.60	(16) 0.33	(14) 0.36	0.42	(16) 0.58	(16) 0.74